

ベトナム国環境分野における開発ニーズ(課題)

- ・ベトナムにおける海洋プラスチックごみの量は、毎年約70万トン規模の世界ワースト4位。
- ・海洋ごみの収集は、その地形的特徴から困難。
- ・人海戦術によるごみ収集がメインであり、ごみ収集の効率性が課題。

提案製品・技術

- ・海洋ごみの回収に特化した「海洋ごみ回収船」。
- ・小型船にベルトコンベヤやクレーンを装備。
- ・運航、維持管理、人材育成等の商船三井の知見とノウハウを有す。

案件概要

- ・ 契約期間: 2022年11月～2023年8月
- ・ 対象国・地域: ベトナム国ハノイ市、ホーチミン市、ダナン市
- ・ 相手国実施機関: ベトナム環境総局(VEA)
- ・ 案件概要: 同国政府・自治体・観光業従事者に対し、海洋ごみ回収船によるプラスチックを始めとする海洋ごみの回収・運搬サービスを提供することで海洋ごみの収集システムを構築し、海洋ごみの削減、ひいてはベトナムの海洋環境保全への貢献を目指す。



開発ニーズ(課題)へのアプローチ方法(ビジネスモデル)

- ・主として、政府(天然資源環境省海洋諸島庁(Administration of Seas and Islands :VASI)等)、現地自治体及び観光業従事者より、商船三井が海洋ごみ回収船の回収・運搬サービスを受注し、サービス料金として代金を回収する。
- ・また、観光税や日系企業を中心としたスポンサーなども検討する。

対象国に対し見込まれる成果(開発効果)

- ・海洋ごみの適切な管理により、ベトナムの居住環境が改善すると共に住民への環境影響が軽減する他、同国の自然遺産や景観の保護に貢献することが可能となる。
- ・海洋プラスチックごみの定期的な回収により海洋汚染を防止し、海洋プラスチックごみ削減への貢献やベトナムの海洋環境保全に資することが可能となる。